

学校関係者評価報告書

(令和5年度)

富山市立富山ガラス造形研究所

令和6年3月

富山市立富山ガラス造形研究所 学校評価委員会は、令和5年度 学校自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を行いましたので、その結果を以下の通り報告いたします。

1 令和5年度 富山市立富山ガラス造形研究所 学校関係者評価委員会

日 時 令和6年3月13日（水）13時30分

場 所 富山ガラス造形研究所

出席者 学校関係者評価委員会委員 5名

今淵 純子 （富山大学芸術文化学部准教授）

刑部 博規 （富山市企画管理部次長）

作道 僚子 （ガラス工芸作家）

畠山 耕造 （本校非常勤講師）

山口 忠司 （（一財）富山市ガラス工芸センター専務理事）

（五十音順）

事務局 6名

恒川 哲二 富山ガラス造形研究所 所長

本郷 仁 富山ガラス造形研究所 主任教授

中神 牧子 富山ガラス造形研究所 主任教授

松藤 孝一 富山ガラス造形研究所 准教授

佐伯 緑子 富山ガラス造形研究所 事務長

水原 裕美 富山ガラス造形研究所 副主幹

2 基準ごとの学校関係者評価、意見

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

【1-1】 理念・目的・育成人材像は定められているか

【1-2】 学校の特色はなにか

【1-3】 学校の将来構想を抱いているか

- 教育理念・目的・育成人材像等については、概ね適正と考えられる。
- 創立当初からの理念を時代に合わせてアップデートしている。
- 将来構想はあるが、ガラス業界の縮小に対しては対応策が必要である。
- バーナーワークの必修科目化については、良いと思う。

基準2 学校運営

【2-1】 運営方針は定められているか

【2-2】 事業計画は定められているか

【2-3】 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

【2-4】 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

【2-5】 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

- 学校運営は、概ね適正に行われていると考えられる。

基準3 教育活動

【3-1】 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

【3-2】 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

【3-3】 カリキュラムは体系的に編成されているか

【3-4】 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか

【3-5】 授業評価の実施・評価体制はあるか

【3-6】 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

【3-7】 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

【3-8】 地域社会との連携や地域性を活かした教育活動が行われているか

- 業界の人材ニーズに向けて方向付けはなされているが、作品を作って、それを販売し、必要経費を獲得して次の作品を作るという作家としての営為が成立していないと思う。
- 近年、燃料等が高騰し、オーストラリアでは、燃料費、材料費などをいかに使わずに作品制作するかが評価されている。時代のニーズを見極めないといけない。
- 指導側の体制はしっかりできているが、アンケートを見ると、学生側の負担が大きく、工芸とアートの区別についても難が感じられる。
- 学生の生の声を大事にして、次に活かしてほしい。アンケートの学生へのフィードバックも大事である。
- 直接授業に関わっている非常勤講師の先生の意見を取り入れることも大事だと思う。
- 富山大学では、カリキュラム改編の会議に学生代表が参加する。学生代表にも意見を発言してもらい、内容を学生に伝えてもらっている。学生の意見を取り入れ、学校の意見を伝える良い機会になる。
- 地域性を活かした教育活動については、さまざまな事業が行われているが、作品を販売するという産業的な方向が見えない。

基準4 教育成果

【4-1】 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られている

【4-2】 退学率の低減が図られているか

【4-3】 卒業生・在学生の社会的な活躍、評価を把握しているか

- アルバイトをしながら制作を続ける者を作家としてみるかどうかによる。「売れる作品」「収集家を魅了する作品」を作る作家を育てることが必要である。
- 学生に対し、作品PR方法、ギャラリストと対話する等、稼げる方法を教えるべきではないか。
- 卒業生・在学生の社会的な活躍、評価は、把握されている。
- 卒業生との情報共有を図ることが大切である。

基準5 学生支援

- 【5-1】 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか
- 【5-2】 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか
- 【5-3】 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか
- 【5-4】 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか
- 【5-5】 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか
- 【5-6】 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか
- 【5-7】 保護者と適切に連携しているか
- 【5-8】 卒業生への支援体制はあるか
- 【5-9】 留学支援や海外との提携による国際教育交流の体制はあるか

- 学生支援は、概ね有効に機能していると考えられる。
- 学生アンケートによると、少し不足に思っている学生もいるようなので、学生の声を活かし、相談しやすい環境づくりに努めてほしい。

基準6 教育環境

- 【6-1】 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 【6-2】 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 【6-4】 防災に対する体制は整備されているか

- 教育環境は、概ね適正に整備されていると考えられる。
- 現在は、適正に整備・運営されているが、今後、少子化に伴う管理経費の減少が懸念される。
- 海外の展覧会やワークショップに参加した経験は、独立してからの心を支える力になるので、とても良いと思う。

基準7 学生の募集と受け入れ

- 【7-1】 学生募集活動は、適正に行われているか
- 【7-2】 学生募集において教育成果は正確に伝えられているか
- 【7-3】 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

【7-4】学納金は妥当なものとなっているか

- 学生の募集と受け入れは、概ね適正に行われていると考えられる。
- 学生募集活動については、適正に行われているが、まだまだ認知されていない部分があるため、広報活動の検討が必要である。教員の紹介動画等があると学校の雰囲気を感じられて良いのではないかと思う。

基準8 法令等の遵守

【8-1】法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

【8-2】個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

【8-3】自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

【8-4】自己点検・自己評価結果の公開をしているか

- 法令、設置基準等の遵守と適正な運営は、概ね適正に行われている。

基準9 社会貢献

【9-1】学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

【9-2】学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

- 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、学生のボランティア活動の支援は、概ね適切に行われている。